

いて防火教室を開催し、3歳児から5歳児までの園児が参加しました。園児は、富岡消防署の職員から火事や火遊びの恐ろしさについて学び、「火遊びは絶対にしませんが」と誓いの言葉を述べました。

11月18日、学校法人昌平賢いわき短期大学付属幼稚園とこども園との連携協力協定に基づき、いわき短期大学の講師と学生による3歳児から5歳児を対象とした運動能力測定を実施しました。個別の結果を保護者に通知するとともに、測定結果を基に園児たちの運動能力の現状を把握し、今後の運動や遊びについて検討していきます。

12月3日、広野こども園の発表会を議長同席のもと開催しました。三密を避けるため、園児の年齢ごとに保護者入れ替え制



こども園生活発表会

ご協力により収穫祭を開催しました。町内外から約600名のご来場により、飲食物のテイクアウト販売や地元野菜の無料配布などを楽しみました。

11月11日、本町と防災協定を結んでいる自治体や職員派遣をいただいている自治体に対し、広野産特別栽培米コシヒカリの新米を送付して支援の感謝の意を届けるとともに復興の姿を報告しました。

11月12日、13日の2日間、中央体育館において、公設商業施設「ひろのてらす」外2店舗による特設大即売会と併せてプレミアム付ひろの商品券販売会を開催し、多くの皆さまにご来場をいただきました。

11月27日、広野町役場会議室において、福島県相双農林事務所主催により、県営広野地区ほ場整備事業に伴う補完工事説明会が開催され、工事の内容や今後のスケジュールなどについて、町内7地区から参加された49名の地権者等に説明がありました。

中央台みかんの丘において、12月5日、広野町児童館の児童27名、12月9日、広野こども園児54名による「みかん狩り」を開催しました。冬でも温暖な本

での観覧としましたが、ご家族の皆様には多数ご来園いただき、園児たちは練習してきたダンスや劇を一生懸命に演じました。12月1日現在、こども園、児童館の在籍者は、こども園88人、児童館66人となっています。

環境防災課

9月21日から9月30日にかけて、役場前交差点において、秋の全国交通安全運動の取り組みとして、国道6号を通行するドライバーと通学時の児童生徒に対して、特別職及び管理職による立哨活動を行い、初日と最終日には職員総出で横断幕やプラカードを掲げ交通事故防止啓発活動を実施しました。

9月25日、広野町総合グラウンドにおいて、令和4年広野町消防団・婦人消防隊秋季検閲式を議長はじめ議員の皆様ご臨席のもと挙行いたしました。当日は、団員・隊員はマスク着用、検温を実施し、十分な感染予防対策を講じ、消防団の厳格な規律や団結力を高め、町民の生命、財産を守ることを念頭に広野町消防団、広野町婦人消防隊、株式会社JERA(ジェーエ)広野火力発電所自衛消防隊、総勢51



ふるさと納税返礼品出発式

町の気候から採れるみかんを子ども達はふるさと味の味として楽しみました。

12月7日、飯館村の養鶏場において高病原性鳥インフルエンザが確認され、福島県相双農林事務所管内における特定家畜伝染病発生時の職員動員計画に基づき、殺処分等防疫措置を実施するため本町職員への動員要請があり、同日午後4時から12月9日午後4時まで24時間体制で延べ18名の職員を派遣しました。

建設課

町道北釜・大谷地原線整備事業については、権利者の方々に事業内容を説明し、理解と協力をお願いし、測量の立ち入り許可を得て用地測量を実施しております。境界仮杭を設置し権利

名の参加のもと行いました。

10月21日、午後3時19分、福島県沖を震源としたマグニチュード5.1の地震が発生しました。本町では震度4を観測するとともに福島第二原子力発電所を有する楡葉町で震度5弱を観測したことから、災害対策本部を立ち上げ関係機関からの情報収集に取り組み、被害が無いことを確認しました。福島第二原子力発電所からは、同日午後7時51分、22日午前9時36分にパトロールの結果異常がなかった旨の報告がありました。23日午前8時30分、災害対策本部会議を開催し、この地震による被害がなかったことを確認し、午前8時40分災害対策本部を解散しました。

10月23日、築地ヶ丘公園折木地区集会所及び中央体育館において、震災後8回目となる広野町津波避難訓練並びに新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難訓練を実施しました。訓練には、沿岸部で生活する町民、企業、消防団、婦人消防隊、関係機関など150人のご参加をいただき、避難所設営や婦人消防隊による物資配布訓練、無人航空機ドローンからの映像で被害状況を確認する情報収集訓練等

者との境界立ち合いを実施し、事業用地を確定する予定です。確定した事業用地については順次用地交渉を進め用地の取得に向けて取り組んでいきます。また、本路線は改良工事の際には、一部下水道管路の移設が必要となるため、移設のための測量設計業務を同時進行で進めております。

町道萱平線整備事業については、権利者の方々に事業内容を説明し、理解と協力をお願いし、測量の立ち入り許可を得て用地測量を実施しております。境界仮杭を設置し権利者との境界立ち合いを実施し、事業用地を確定する予定です。次年度以降、権利者に対し事業の必要性を重ねて説明し、理解と協力をお願いしながら用地交渉に取り組んでいきます。一部多相続の土地があり用地交渉の難航が想定されますが、丁寧な説明を行い用地取得に取り組んでいきます。町道田戸作線整備事業については、工事個所の通行止めに関する双葉警察署との協議、地域住民への周知が完了し、12月5日現地において工事に着手しました。綿密な工程管理の下、年度内完成に向け取り組んでいきます。

実施し、防災体制の連携強化と防災意識の高揚を図りました。



広野町津波避難訓練並びに新型コロナウイルス感染症対策に基づく避難訓練

11月27日、ひろの防災緑地において、消防団による大規模火災を想定した「つなぎ放水訓練」を実施しました。当日は、消防団員51名、消防車両13台の参加のもと、自然水利を活用した中継放水訓練を実施しました。併せて無人航空機ドローンを活用した火災現場の情報収集訓練も実施しました。火災のシーズンを迎え町民の安寧な生活の営みに向け、消防団員が厳正な規律・志気及び迅速な行動・動作で基本に忠実な操作により、機械器具への精通を深めました。

産業振興課

営農再開10年となりました令和4年産米の収穫量について

県管理河川である浅見川の河川改良復旧工事については、一部事業用地が取得できず、未施工の部分がありました。用地の取得が相整い、速やかに工事を進め、計画していた全延長250メートルの護岸工事が完了しました。

学校教育課

10月15日、広野小学校において学習発表会を実施しました。新型コロナウイルス感染症予防として、換気の徹底、各学年の発表終了後ごとに保護者の入れ替えを実施し、「元気づけたい全力発表 未来に 舞台上にはばたこう」をスローガンに練習した成果を発表しました。



中学生ルーテプロジェクト報告会

10月22日、広野中学校において広蚕祭を実施しました。演目

は、「平年並み」となりました。等級別では、比較的天候に恵まれたこと、カメラシ防除の取り組み強化やあぜ道指導会での中干し指導の徹底、生産技術の向上により1等米の比率が95.5パーセントとなり、昨年と比較して大幅に高くなりました。

米の放射性物質検査につきましては、令和4年産米より、これまでの全量全袋検査から町内全域より3点を抽出し検査するモニタリング検査に移行されました。検査結果については、すべて測定基準値以下となり、安心・安全が確保されました。

10月24日、広野町役場前において、ふるさと応援寄付金の納税者に対する返礼品として特別栽培米コシヒカリの発送式を執り行い、寄附金を寄せていただいた全国174名の納税者の皆さまに向けて第一便を発送しました。12月1日現在、全国31都道府県から451件の申し込みを受け付けており、来年2月まで、納税者の方に向けて発送いたします。

11月5日、広野町公民館駐車場において、新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に講じながら、ひろの秋祭りの一環として、農業団体、商業団体などの間に換気を行いながら、テーマ「彩(カラフル)」の下、合唱披露や寸劇を交えた総合的な学習の発表、全校生徒による「よさこいソーラン」の集団演舞などを披露しました。

11月15日から16日の1泊2日の日程で、異文化交流体験事業として、広野小学校5年生23名、広野中学校1年生50名が、天栄村にあるプリティッシュルズにおいて、英語のみを使った質問ゲームや日常会話で使用する英語表現を用いた英会話などを通じて、「パスポートのいらない英国生活」を体験しました。

12月3日、ふるさと創造学サミットが富岡町文化交流センター「学びの森」において開催されました。「ふるさと創造学」は、双葉郡8つの町村がともに取り組む、地域の「ひと」、「もの」、「こと」を題材にした探究学習であり、広野小学校4年生は、「広野町の魅力を伝えよう」をテーマに調べ学習を実施し、広野中学校1年生は、「ふるさとの魅力を探る」をテーマに実演CMを作成し、広野中学校2年生は、「ふるさとの魅力を伝える」をテーマに実際に職場体験を実施したことを踏まえて職場の魅力伝え、広野中学校3